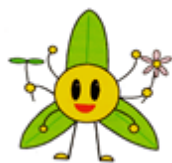


平成28年6月13日



柿の木

花と緑と思いやりひとみ輝く二小の子

▽思いやりのある子ども

▽進んで学ぶ子ども

▽力いっぱい活動する子ども

<http://www.edu.city.koriyama.fukushima.jp/asaka2-e/>

文責 齋藤 和代

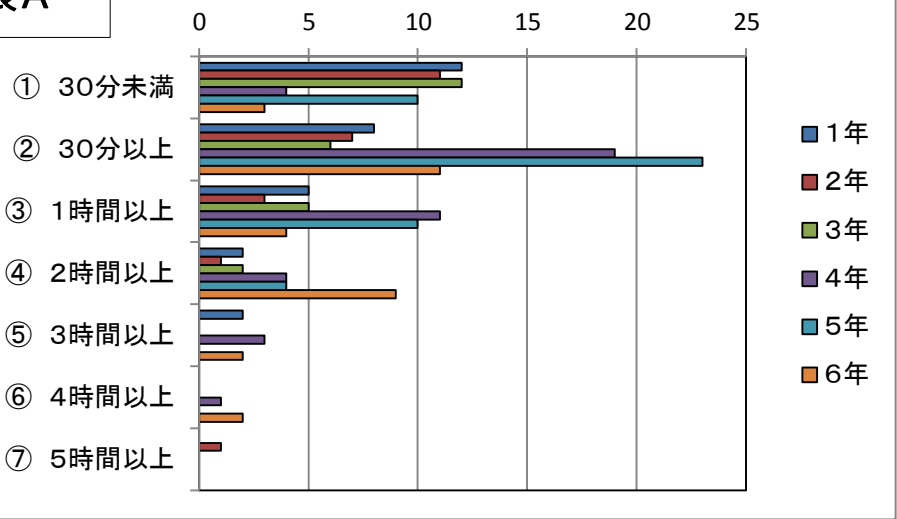
携帯・スマホ等調査本校の実態は

5月に、県の校長会で実施した携帯・スマホ調査の本校集計がまとまりました。少しお伝えしたいと思います。

下の表は、「1日(平日)平均どれくらいの時間ネットに接続して使っていますか。」という質問に対する回答です。

表Aは平日、表Bは休日のネット接続時間です。30分未満には、もちろん「使用しない」「ネットに接続はしない」という回答を含みます。

表A

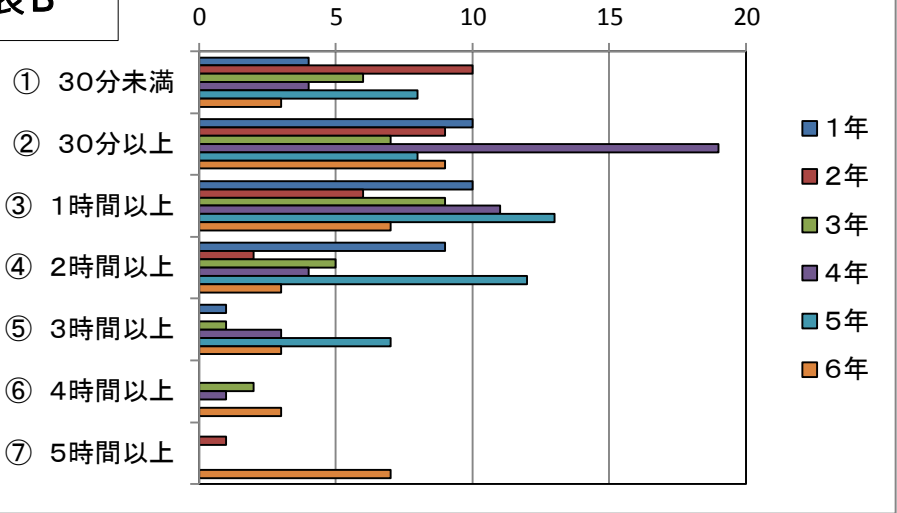


多くの児童は、30分～1時間程度の使用となっているようです。家庭でちゃんとルールを決めて使用していることが伺われます。

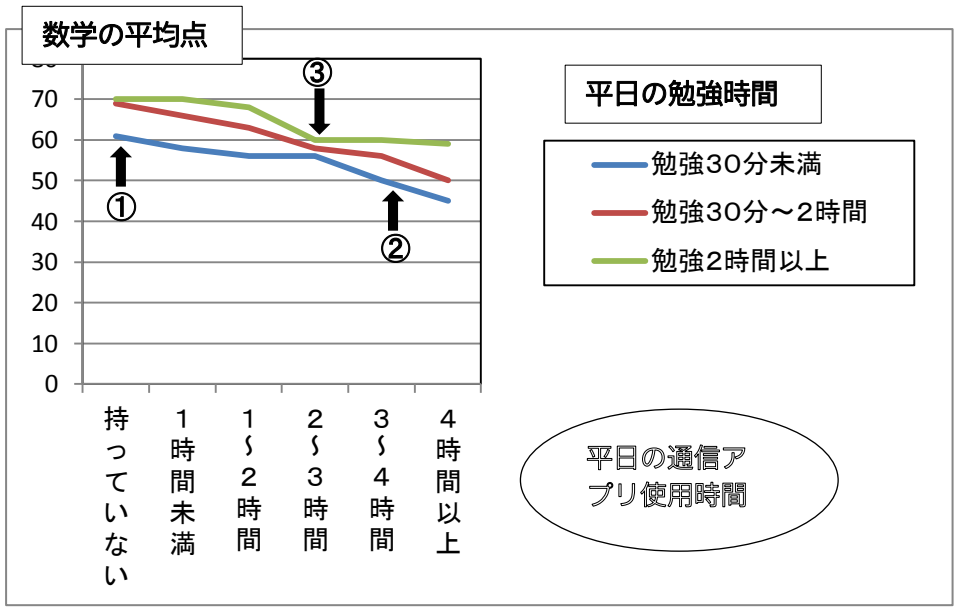
これが休日となると、少し使用時間が長くなるようです。1時間以上、2時間以上、中には5時間以上という人もいます。学年が上がれば長くなる傾向があるようです。

【裏へ続く】

表B



ここで、気になるデータがあります。下の表は、東北大学の川島先生をはじめとする仙台市の「学習意欲の科学研究に関するプロジェクト」がまとめた「通信アプリ等の使用時間と勉強時間と、数学の平均点との関係性を調べたグラフです。



「平日に30分未満しか勉強しない」生徒の状況を見ると、通信アプリを使わない（スマホや携帯を持っていない）生徒の数学の平均点は約61点でした。（↑①）しかし、3時間以上使う生徒の数学の平均点は、

50点以下に急激に低下しています。（↑②）この群の生徒は、家庭ではほとんど勉強をしていません。つまり、通信アプリの使用時間が長くなるほど生徒たちの中から、学校で習得した学習内容が消えて無くなったことを意味していると考えられます。

また、学校以外の学習を2時間以上している生徒も、2時間以上アプリを使用していると、ほとんど学習をしないがアプリはあまり使用しない生徒と、数値が変わらないことも見て取れます。（↓③）つまり、いくら学習時間が長くても、アプリの使用時間が長くなると意味がないという怖いデータです。

情報化時代に生きるこれからの子どもたちにとって、機器に使われるのではなく、正しく使えるようにしていかなくてはと考えています。

週の予定

月 日	曜日	行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
6月13日	月	○体力テスト	5	5	5	5	5	5
14日	火	○ジェームズ先生来校 5年, 6年, 2の3 ○県中教育事務所長学校訪問 午後	5	5	5	6	6	6
15日	水	○クラブ活動	5	5	5	6	6	6
16日	木	○PTA南ブロックPTA会長・校長合同会議 ○三穂田地区明るいまちづくり推進委員会 及び青少年健全育成三穂田地区協議会	5	5	6	6	6	6
17日	金	○第1回校内研究授業（算数）2年2組	4	5	5	5	5	5
18日	土	○週休日 ○陸上競技交流大会県中地区予選 開成山陸上競技場 5, 6年生15名参加	・	・	・	・	・	・
19日	日	○週休日	・	・	・	・	・	・